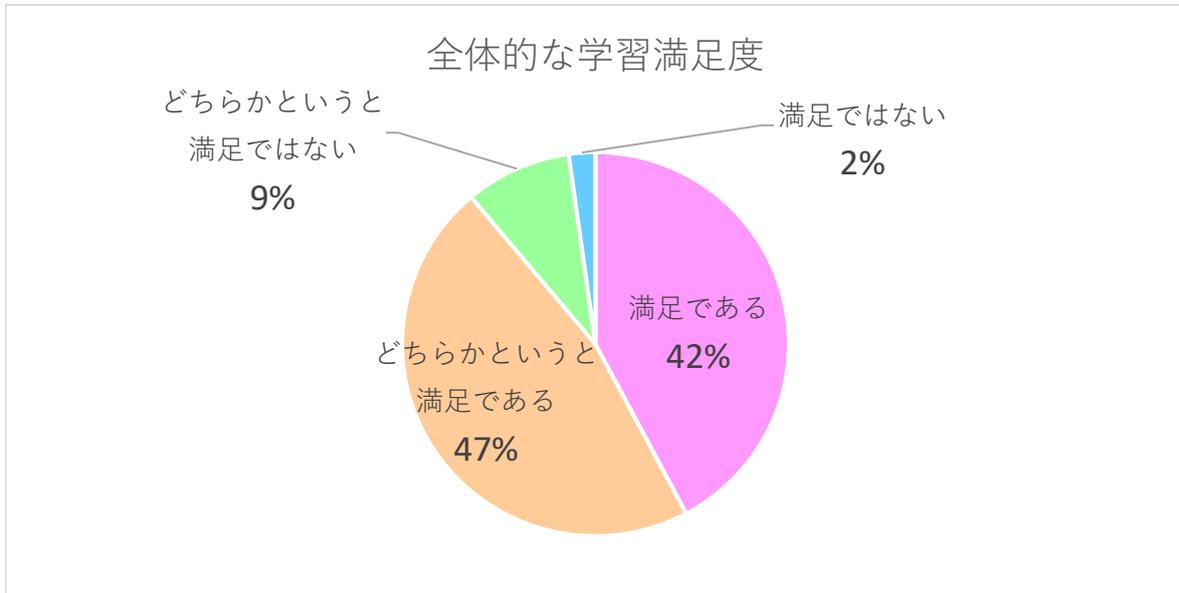


## 令和6年度「ふるさと塾」振り返り

地域と学校の連携・協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取組とするため、効果検証を行い、子ども達によりよい学習機会を提供することを目的として、全体的な学習満足度を調査しました。

「満足である」が42%、「どちらかという満足である」が47%という結果となり、全体の約90%が満足感を得たことが分かりました。



また、「ふるさと塾」の活動をとおして、探究的な学習にもつながる発展的な学習への意欲を持つ子どもがいることが分かりました。

<振り返りより一部抜粋>

○小学3年生「萌の子塾」

- ・草原ビンゴでは、子どもたちはとても楽しそうに植物を探していた。
- ・せっかくの説明が、(山道の通路が狭かったため)列が長くなって聞こえない状況があった。

○小学4年生「河の子塾」

- ・子供たちは日頃できない活動をしたたりや高校生と交流したりできて、とても喜んでいました。
- ・「生きものをもっと調べたい」「他の川の生きものも見てみたい」という感想があった

○小学5年生「風の子塾」

- ・扇坂展望所で凧揚げができれば、西原の自然をより感じる事ができて良かった
- ・風車(風力発電)の跡を見に行くのであれば、もう少し活動内容を工夫する必要があった

○小学6年生「山の子塾」

- ・飯盒炊さん（飯盒で米を炊くこと）は子供たちにとって良い経験だったと思う。
- ・夜の空港見学は誰にでもできる体験ではなく、整備士の方からのお話も聴くことができ、大変貴重な機会となった。

○中学1年生「里の子塾」（受入農家さんより）

- ・農業体験は、高校生ぐらいになるとしっかりできる。中学生は、自分たちでわいわいやってるのが楽しいようだ。
- ・農業体験に来る生徒には、何を目的にやってくるのかしっかりと理解してきてほしい。

○中学2年生「民の子塾」

- ・ある事業所では、次世代の人材育成（自社または自社の業界への就業）を目指してプログラムを周到に準備されていた。
- ・意図して様々な業務を体験させて頂いた事業所もあった。

○中学3年生「志学塾」

- ・（熊本日日新聞社の方から）文章の書き方、資料のまとめ方についてご教示いただき〈中略〉自分たちが伝えたいことを焦点化したり方向性を確認したりすることができ、大変有意義な活動となった。
- ・SDGsの視点で2年次より取り組んできた学びがあったので、その時の経験や学びも活用することができた。